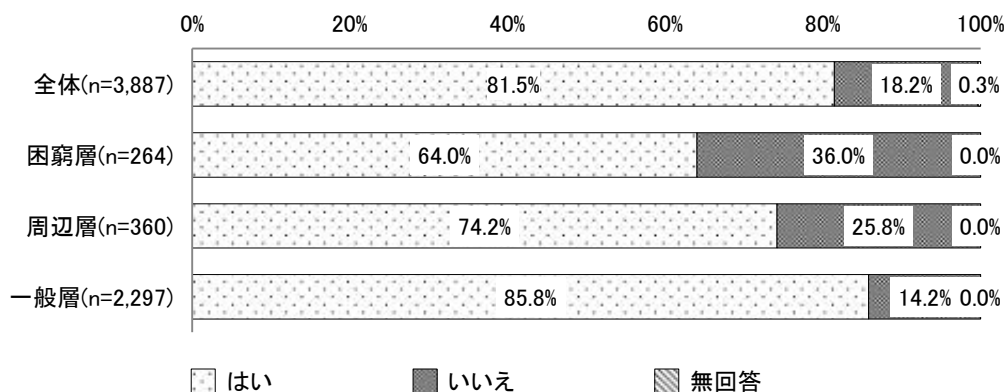
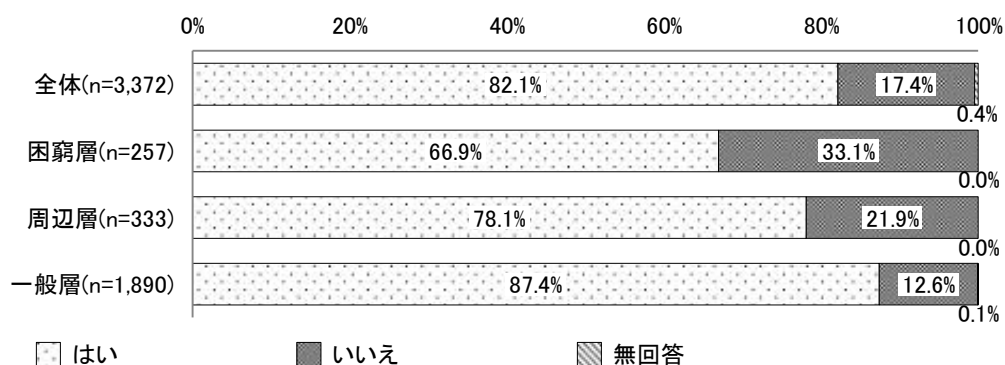


図表 28 保問 22 定期的に健康診断やがん検診を受けているか

【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)



図表 29 保問 23 受診していない理由

【小学生】

	必要性を感じないから**	受診する時間がな いから	費用がか かるから **	医療機関 が近所に ないから	その他 **	無回答
全体 (n=708)	17.1	48.0	38.3	3.8	16.4	3.0
困窮層 (n=95)	7.4	52.6	69.5	2.1	9.5	0.0
周辺層 (n=93)	9.7	50.5	54.8	4.3	9.7	3.2
一般層 (n=326)	22.4	46.9	26.1	3.4	20.2	2.1

【中学生】

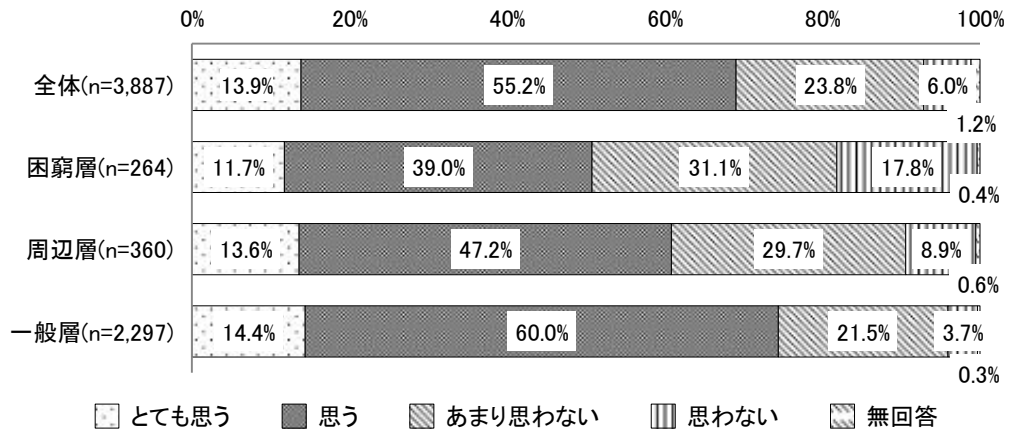
	必要性を感じないから**	受診する時間がな いから	費用がか かるから **	医療機関 が近所に ないから	その他 **	無回答
全体 (n=588)	19.4	45.2	32.8	2.9	17.2	3.4
困窮層 (n=85)	7.1	54.1	68.2	4.7	7.1	0.0
周辺層 (n=73)	12.3	47.9	50.7	2.7	8.2	4.1
一般層 (n=238)	29.0	45.0	16.8	2.5	21.4	1.7

\*\*]:p<.01, [\*]:p<.05

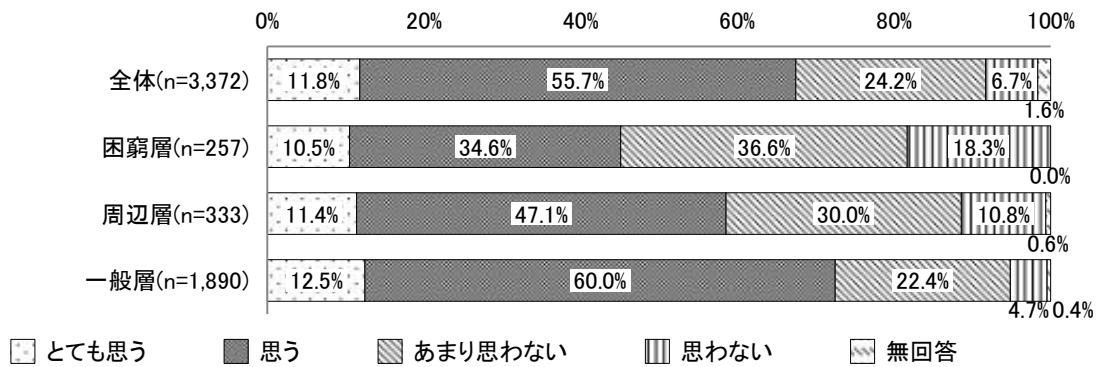
※対象は保問 22 で「いいえ」を選択した者

図表 30 保問 45 自己肯定感\_がんばれば、むくわれる

【小学生】 (p<.01)

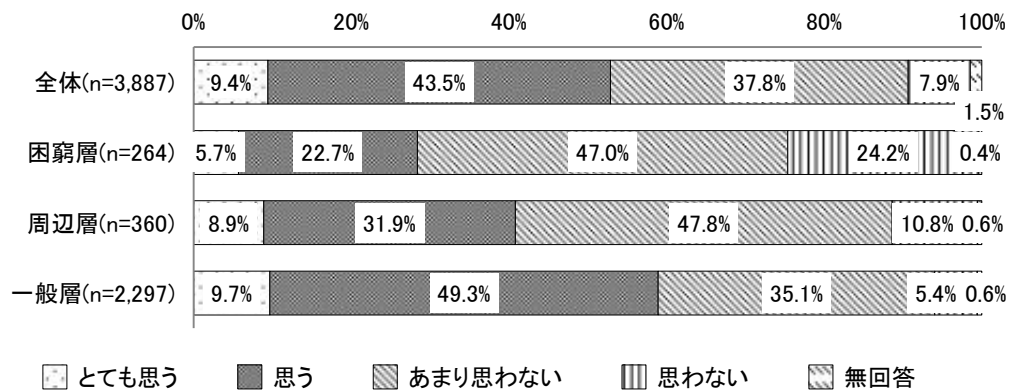


【中学生】 (p<.01)

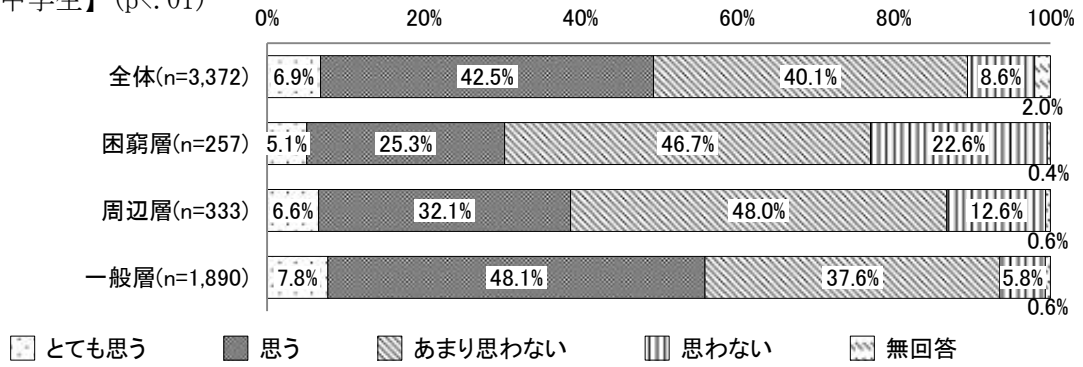


図表 31 保問 45 自己肯定感\_自分は価値のある人間だ

【小学生】 (p<.01)

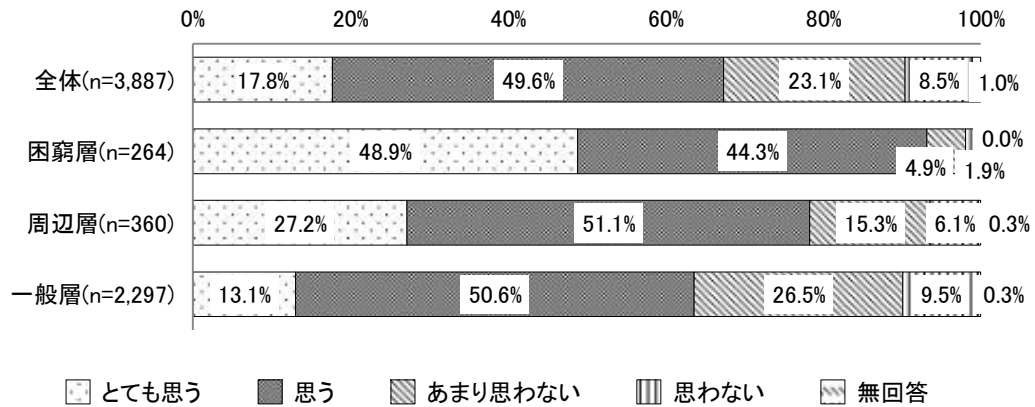


【中学生】 (p<.01)

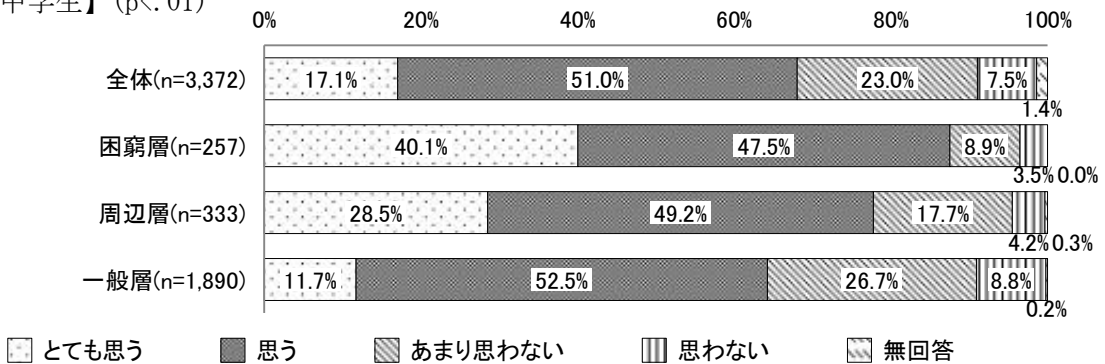


図表 32 保問 45 自己肯定感\_不安に感じることがある

【小学生】 (p<.01)

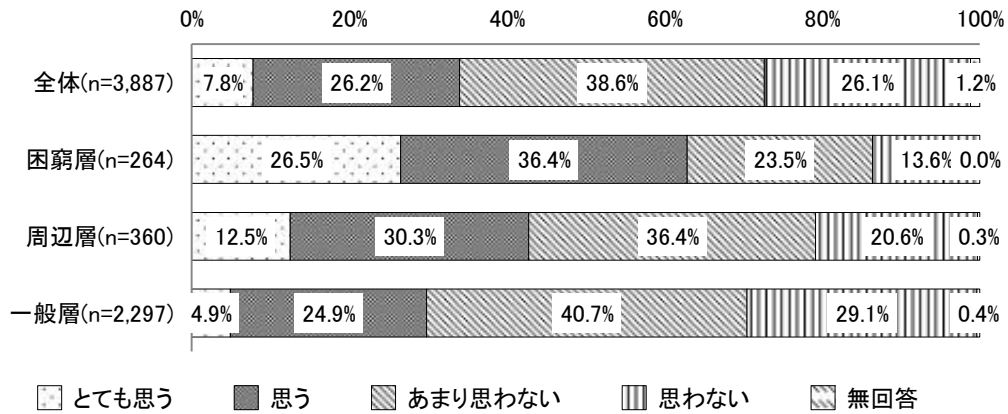


【中学生】 (p<.01)

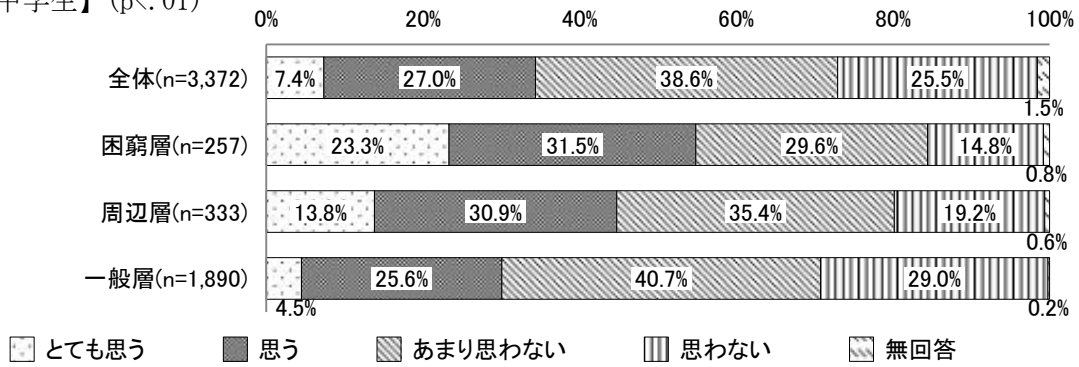


図表 33 保問 45 自己肯定感\_孤独を感じることもある

【小学生】 (p<.01)

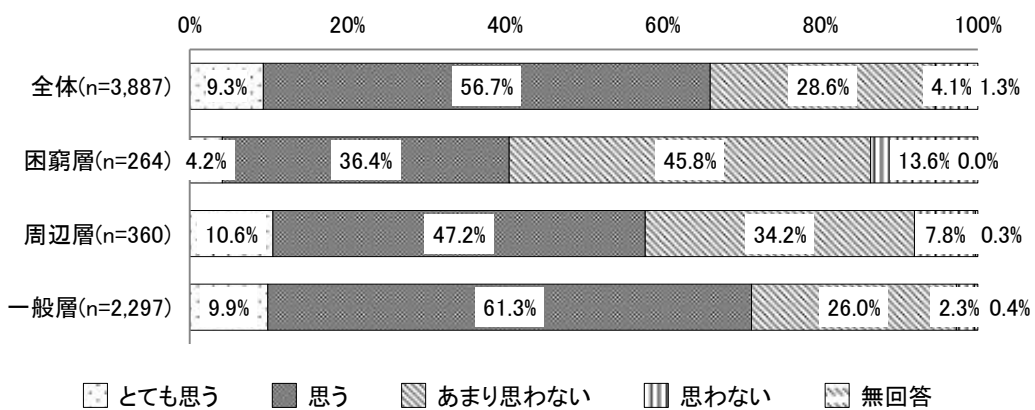


【中学生】 (p<.01)

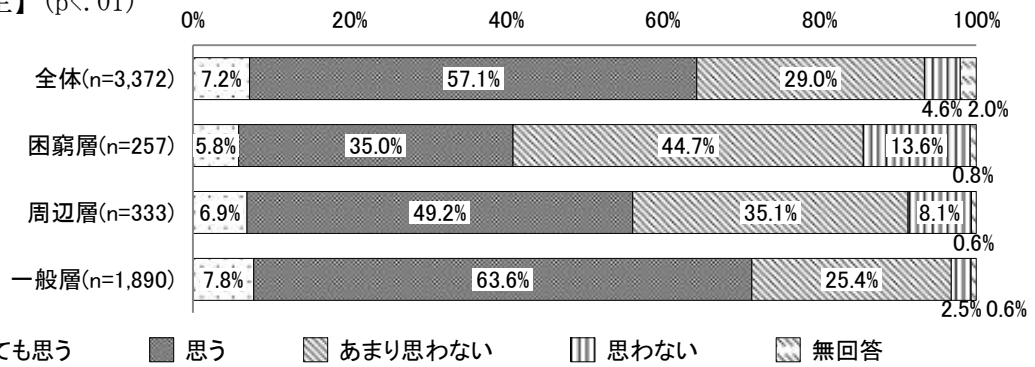


図表 34 保問 45 自己肯定感\_目標や計画は達成できる

【小学生】 (p<.01)

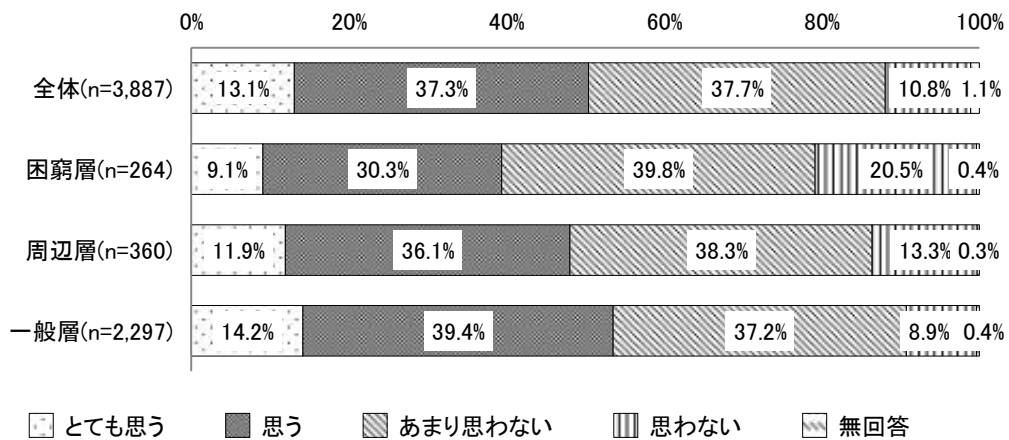


【中学生】 (p<.01)

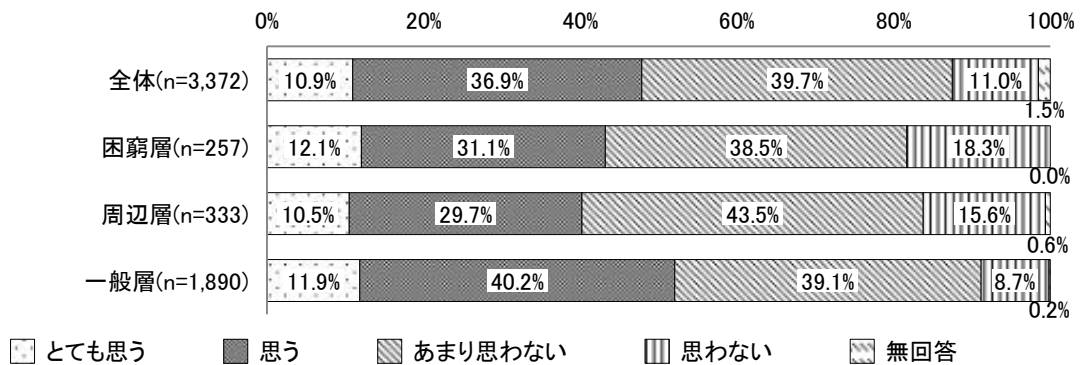


図表 35 保間 45 自己肯定感\_積極的に色々な人と話したい

【小学生】 (p<.01)

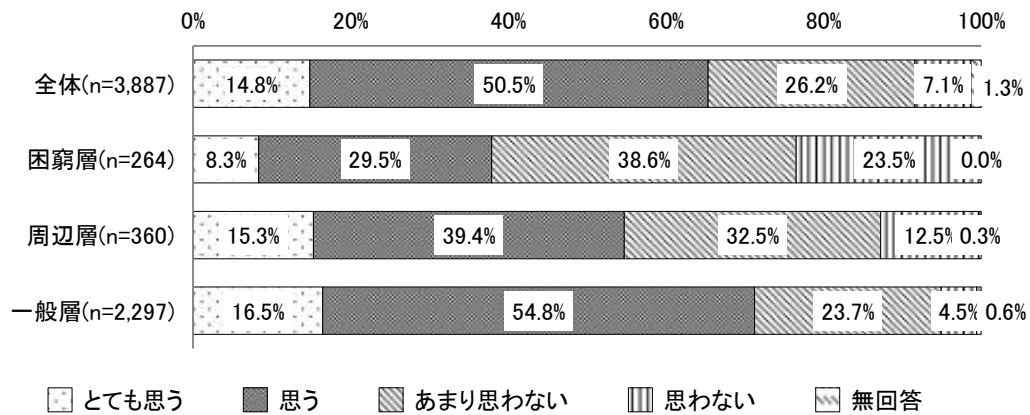


【中学生】 (p<.01)

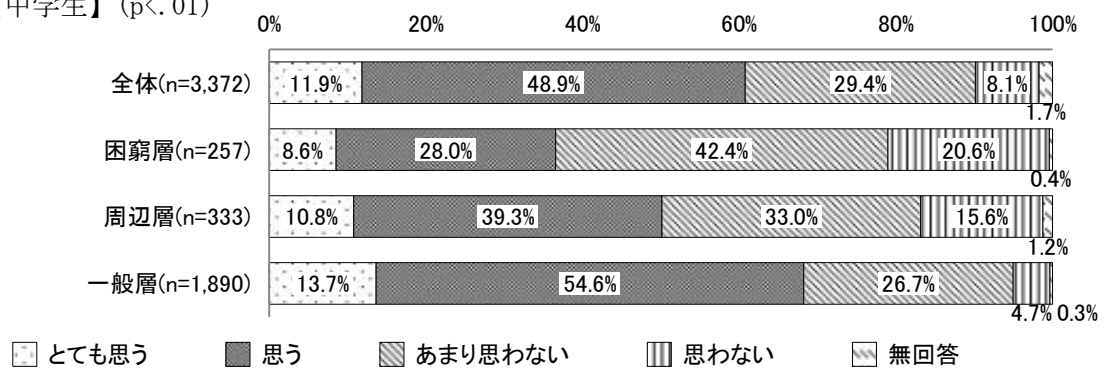


図表 36 保問 45 自己肯定感\_今後の人生が楽しみだ

【小学生】 (p<.01)

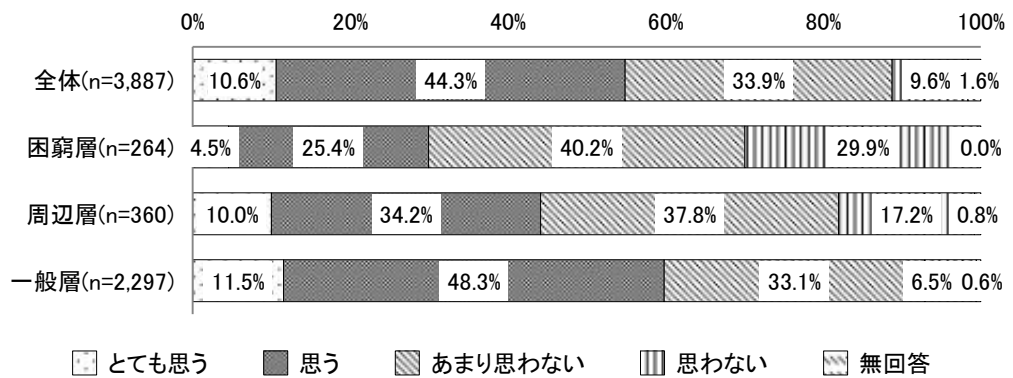


【中学生】 (p<.01)

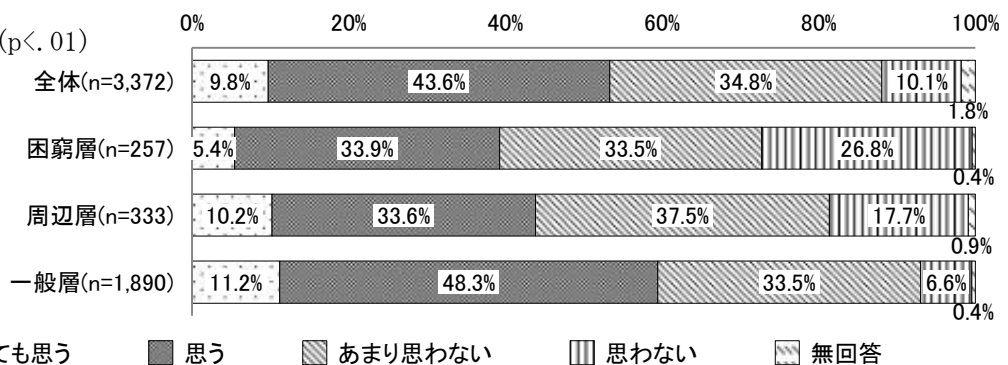


図表 37 保問 45 自己肯定感\_自分のことが好きだ

【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)



4. 保護者と子ども・地域との関わり

《全体の状況》

- ・おうちの大人と一緒に朝食を食べる機会がほぼないと回答した子ども割合は、一般層と比べて困窮層の方が高い。(図表 38)
- ・おうちの大人と一緒に夕食を食べる機会が毎日と回答した割合について、中学生は、一般層と比べて困窮層の方が低い。(図表 39)
- ・おうちの大人と一緒に遊んだり体を動かしたりする機会がほぼないと回答した割合について、小学生は、一般層と比べて困窮層の方が高い。(図表 40)
- ・おうちの大人と学校生活の話をする機会について、小学生は、一般層に比べて困窮層の方が、回数が少ない傾向にある。(図表 41)
- ・おうちの大人とニュースなど社会の出来事の話をする機会がほぼないと回答した子どもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 42)
- ・困ったときや悩みがあるときに相談できる相手がいないと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 43)
- ・近隣に、挨拶や日常的な会話をする知人や友人がいないと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 44)
- ・近隣に、子育てに関する悩みや相談をできる知人や友人がいないと回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(

図表 45)

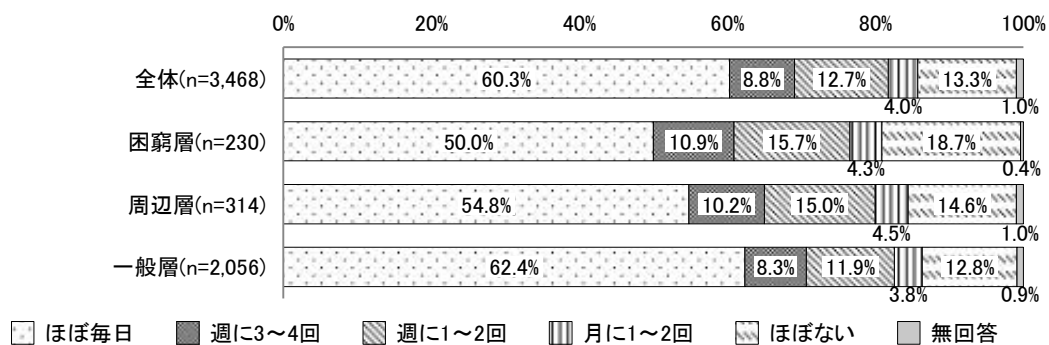
《結果概要》

困窮層の家庭は家族間のコミュニケーションや外部とのコミュニケーションが少なく、孤立していることがある。孤立してしまい相談できる相手がいない世帯は、困窮の初期段階にあっても周囲が気づかず見落とされてしまう可能性がある。

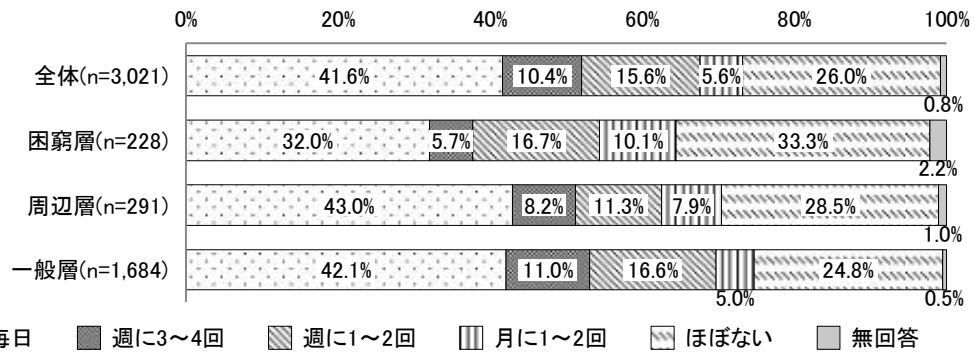
《関連項目》

図表 38 子問 23-1 おうちの大人と一緒に朝食を食べるか

【小学生】(p<.05)

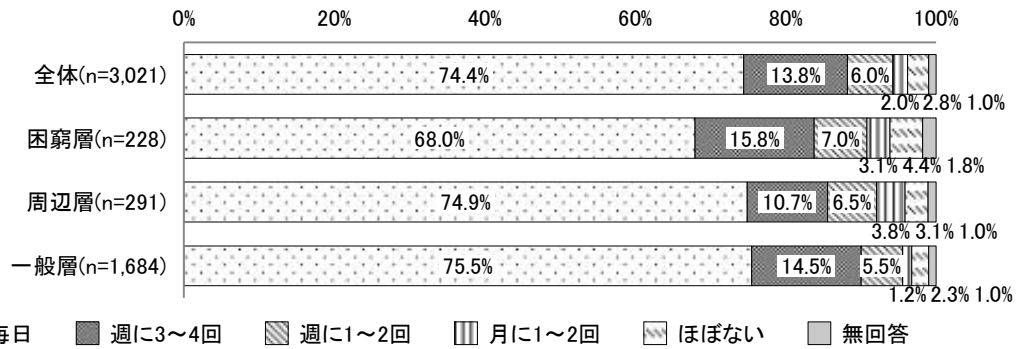


【中学生】 (p<.01)



図表 39 子問 23-1 おうちの大人と一緒に夕食をたべるか

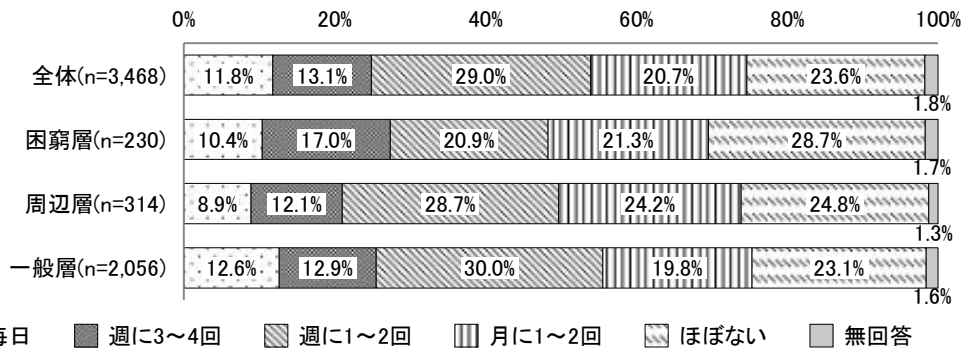
【中学生】 (p<.01)



※小学生は有意差なし

図表 40 子問 23-4 おうちの大人と一緒に遊んだり体を動かしたりするか

【小学生】 (p<.05)

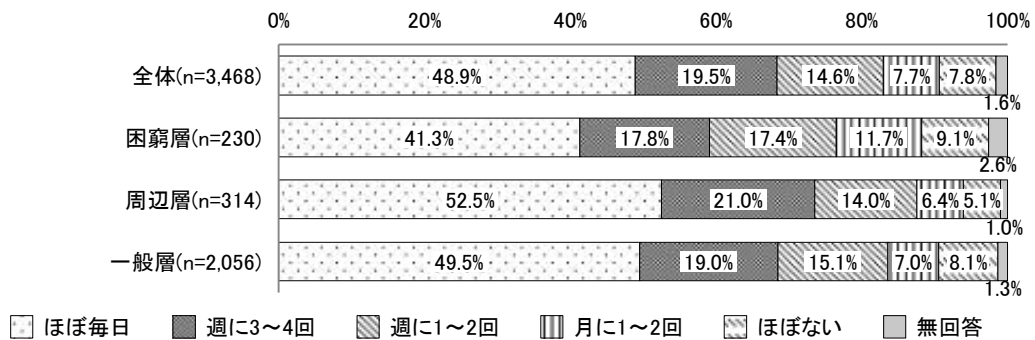


※中学生は有意差なし



図表 41 子問 23-5 おうちの大人と学校生活の話をするか

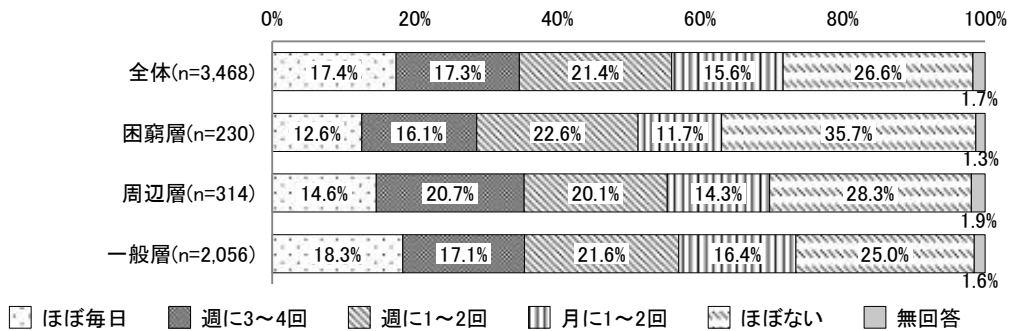
【小学生】 (p<.05)



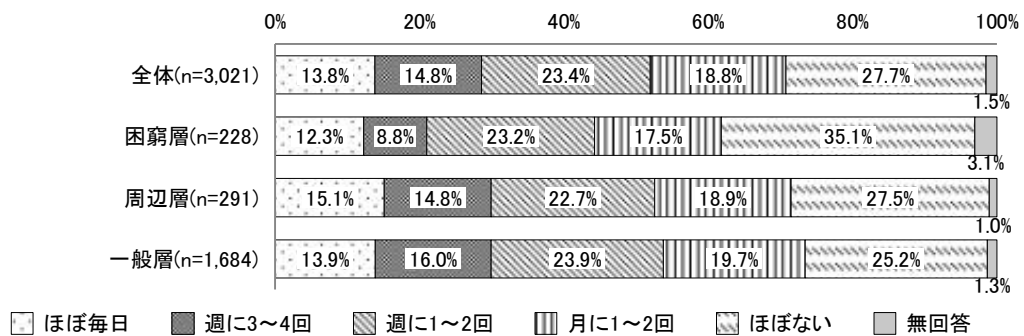
※中学生は有意差なし

図表 42 子問 23-6 おうちの大人とニュースなどの社会のできごとについて話すか

【小学生】 (p<.01)

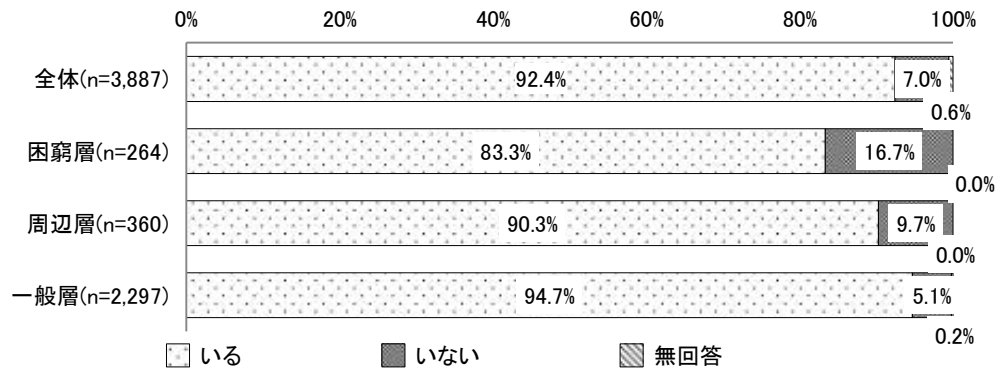


【中学生】 (p<.05)

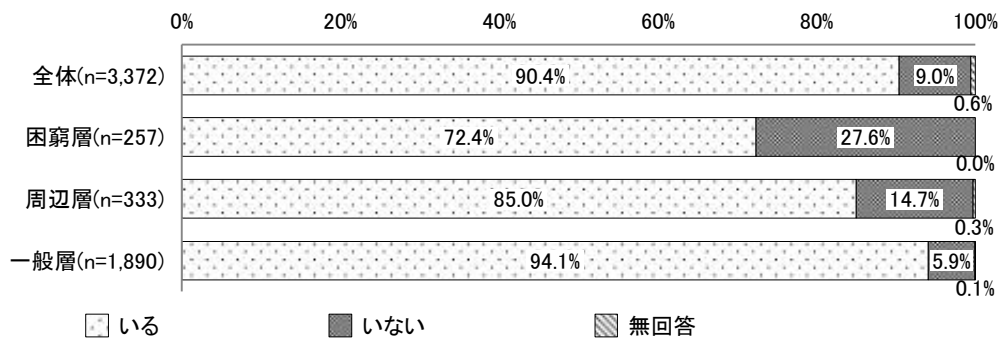


図表 43 保問 36 相談できる人

【小学生】 (p<.01)

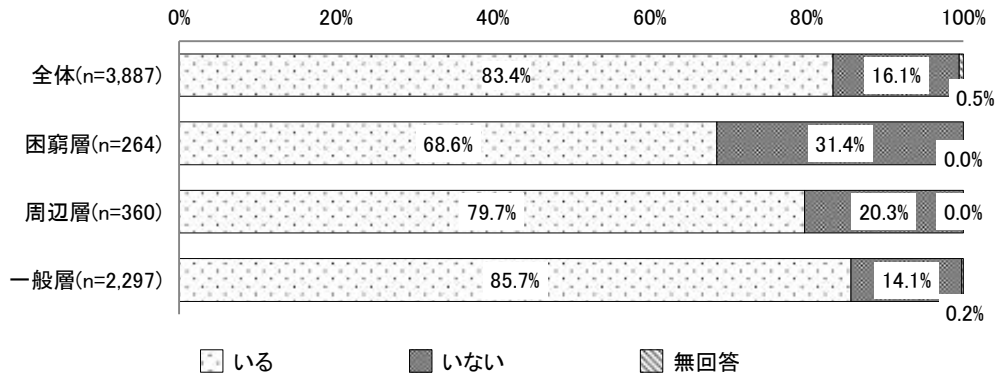


【中学生】 (p<.01)

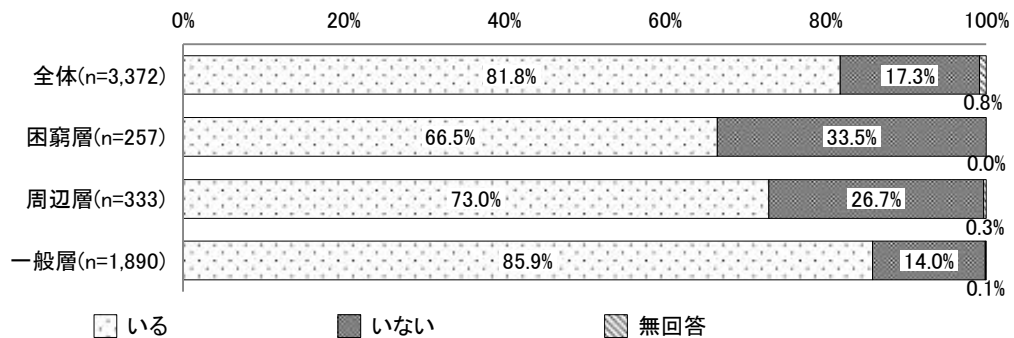


図表 44 保問 37 近隣の知人・友人 (挨拶や日常会話)

【小学生】 (p<.01)

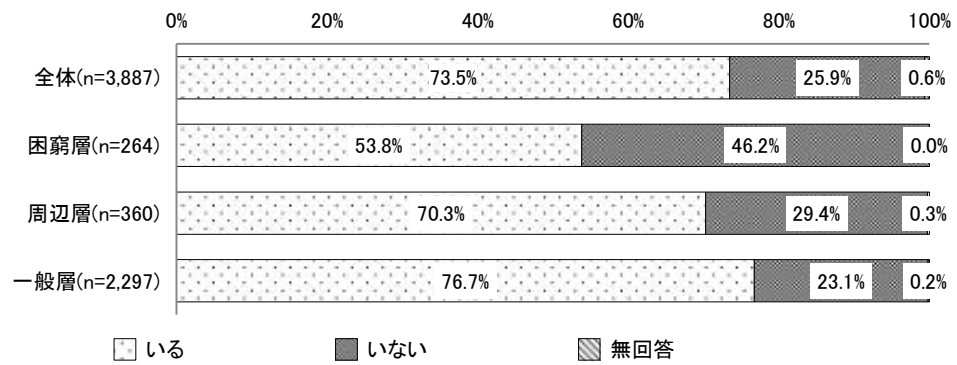


【中学生】 (p<.01)

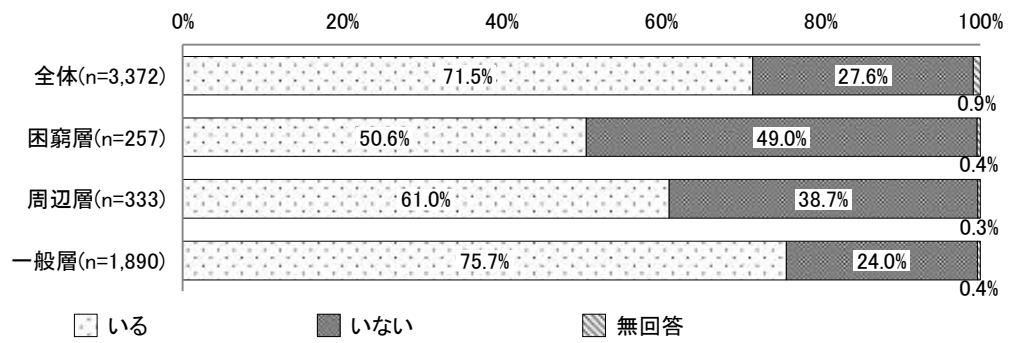


図表 45 保問 38 近隣の知人・友人（子育て相談）

【小学生】（ $p < .01$ ）



【中学生】（ $p < .01$ ）



5. 保護者のこれまでの経験

《全体の状況》

- ・15歳頃の暮らし向きが「やや苦しかった」「大変苦しかった」と回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 46)
- ・親から暴力を振るわれたことがあると回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 47)
- ・こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがあると回答した保護者の割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 48)

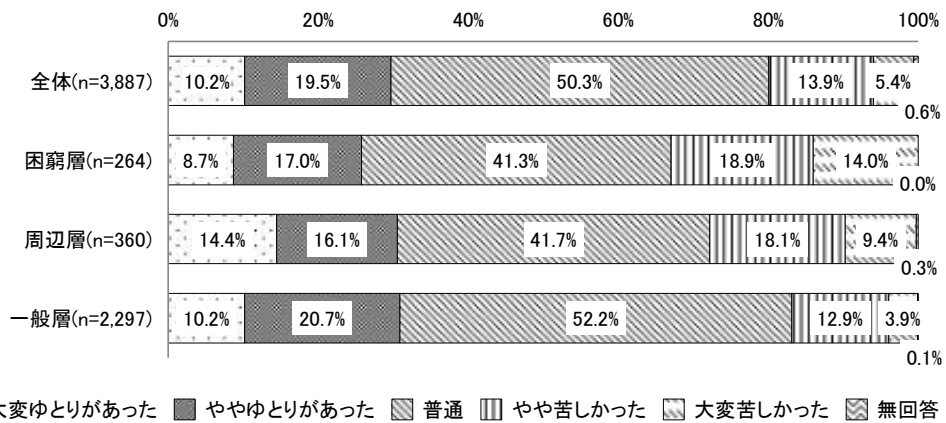
《結果概要》

困窮している家庭環境は世代を超えて連鎖することがある。

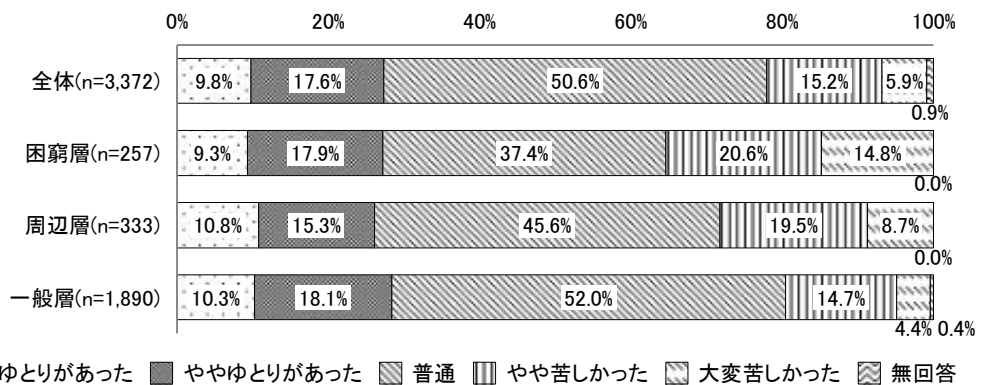
《関連項目》

図表 46 保問 41 15歳頃の暮らし向き

【小学生】 (p<.01)



【中学生】 (p<.01)



図表 47 保問 43 成人前の体験

【小学生】

	両親が離婚した[**]	親が生活保護を受けていた[**]	母親が亡くなった[*]	父親が亡くなった[*]	親から暴力を振られた[*]	育児放棄された[**]	1～6のいずれも経験したことがない[**]	無回答
全体(n=3887)	9.5	0.8	1.2	3.0	5.2	1.8	78.9	3.5
困窮層(n=264)	20.8	1.9	2.7	5.3	8.3	3.4	64.4	3.8
周辺層(n=360)	12.5	1.7	0.6	4.2	7.2	3.3	73.9	2.8
一般層(n=2297)	8.2	0.5	1.0	2.5	4.9	1.3	82.2	1.9

【中学生】

	両親が離婚した[**]	親が生活保護を受けていた	母親が亡くなった	父親が亡くなった	親から暴力を振られた[**]	育児放棄された	1～6のいずれも経験したことがない[**]	無回答
全体(n=3372)	8.7	0.9	1.2	2.7	5.9	2.0	78.3	4.6
困窮層(n=257)	14.4	1.6	1.2	3.5	11.3	3.1	70.4	3.1
周辺層(n=333)	11.1	2.1	2.1	2.1	7.5	3.0	74.5	4.8
一般層(n=1890)	8.1	0.8	1.1	2.6	4.9	1.9	81.7	2.8

[\*\*]:p<.01, [\*]:p<.05

図表 48 保問 44 こどもを持つてからの体験

【小学生】

	配偶者から暴力をふるわれたことがある[**]	こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある[**]	育児放棄になった時期がある[**]	出産や育児でうつ病になった時期がある[**]	わが子を虐待しているのではないか、と思いい悩んだことがある[**]	自殺を考えたことがある[**]	1～6のいずれも経験したことがない[**]	無回答
全体(n=3887)	6.1	7.2	1.3	12.6	15.7	7.9	64.0	5.2
困窮層(n=264)	19.3	11.0	4.9	23.5	23.1	21.6	39.8	6.1
周辺層(n=360)	8.3	10.3	1.7	15.6	23.6	11.7	54.2	4.2
一般層(n=2297)	4.1	6.1	1.0	11.6	14.0	5.6	69.7	2.9

【中学生】

	配偶者から暴力をふるわれたことがある[**]	こどもに行き過ぎた体罰を与えたことがある[**]	育児放棄になった時期がある[**]	出産や育児でうつ病になった時期がある[**]	わが子を虐待しているのではないか、と思いい悩んだことがある[**]	自殺を考えたことがある[**]	1～6のいずれも経験したことがない[**]	無回答
全体(n=3372)	7.7	8.2	1.5	10.9	14.1	7.4	63.5	5.9
困窮層(n=257)	20.6	16.3	4.7	20.2	21.4	17.1	44.4	3.1
周辺層(n=333)	13.8	12.9	1.5	15.0	18.6	12.3	52.9	6.0
一般層(n=1890)	5.6	7.7	1.1	9.8	14.0	5.3	67.6	3.9

[\*\*]:p<.01, [\*]:p<.05

②【教育の支援】

6. こどもの学びの状況

《全体の状況》

- ・学校の授業が分からないと感じるこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高く、中学生ではその傾向が顕著である。(図表 49)
- ・自宅で宿題ができる場所がない、欲しいと回答したこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 50)
- ・学校の授業が「あまりわからない／わからないことが多い／ほとんど分からない」と回答した者のうち、中学生において、勉強が分からないときに塾や習い事の先生が教えてくれると回答したこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が低い。(図表 51)
- ・学習塾に通っていないこどもの割合は、一般層に比べて困窮層の方が高い。(図表 52)
- ・学校の授業以外の勉強時間は、一般層に比べて困窮層の方が少ない。(図表 53)
- ・将来、大学またはそれ以上まで進学したいと回答した中学生の割合は、一般層に比べて困窮層の方が低い。(図表 54)

《結果概要》

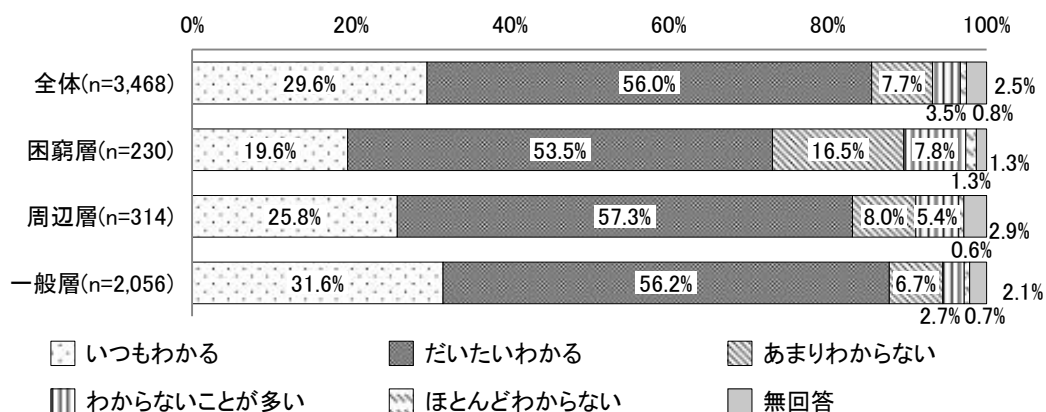
困窮状況によって授業の理解度や学校外での学習環境・勉強時間に差がみられ、中学生においてその差が顕著に確認された。

また、中学生の進学希望にも差があり、困窮が影響して進学を諦めるこどもが一定数いることが推測される。

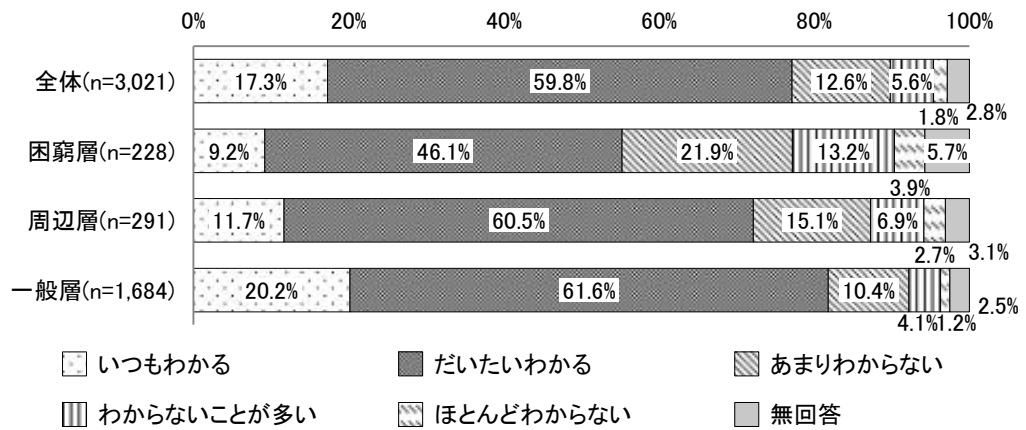
《関連項目》

図表 49 子問4 学校授業の理解度

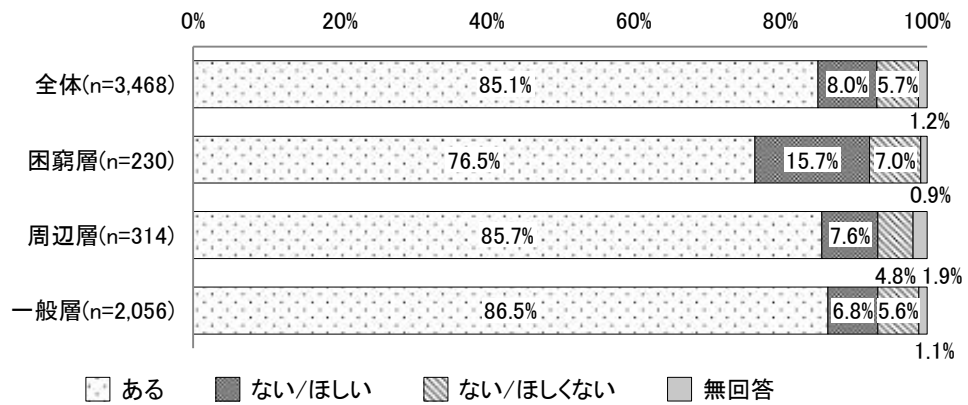
【小学生】(p<.01)



【中学生】 (p<. 01)



図表 50 子問 26 利用できるもの\_自宅で宿題をすることができる場所  
【小学生】 (p<. 01)



【中学生】 (p<. 01)

